

第10期中期計画総括 (2021年度～2023年度)

第10期中期計画（取組み方針）

年 度	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度	令和5（2023）年度
重 要 イベント	東京オリンピック・パラリンピック	-	-
テーマ	次の時代へと続く持続可能な活動へのトランスフォーメーション（⇒ 若年ファン層拡大・デジタルツールの積極的活用・運用組織の在り方）		
新常態 (New Normal)	Ⅰ. ウイズコロナ		Ⅱ. アフター・ポストコロナ
取組み方針	Ⅰ. WEBやオンラインによる多岐にわたる情報発信や少人数で楽しめる仕掛けづくりに注力		Ⅱ. 左記での構築ノウハウを活用し、第9期積み残し課題への取組と従前事業の再構築・再稼働
	1. 広報活動のさらなる拡充 ・30周年事業の活用 → Instagram投稿キャンペーン → 歴史街道ガイドブック（キャラクター版） → 記念フォーラム 2. ターゲット層の拡大（若年層の取込み） ・マイクロツーリズム推進 ・ゲームオペレーション試行（新しい楽しみ方） ・フォトロゲイニング試行（新しい楽しみ方） 3. デジタル化施策の導入 ・歴史街道スタンプラリーのデジタル化試行 ・オンラインセミナーの展開	・30周年事業の発展的定着化 → Instagram投稿キャンペーン年次定例化 → キャラクターの多角的展開による情報発信 ・マイクロツーリズムの推進拡大 ・ゲームオペレーション試行拡大展開 ・フォトロゲイニング試行先拡大 ・デジタルポイント拡大 ・オンラインセミナー拡大展開	・メインルート6拠点参画官民広域連携事業試行 ・地域連携事業の再構築、再稼働 ・首都圏での活動拡大 + 前年までの取組施策の継続実施。 ただし、試行施策については 試行結果を検証の上、 継続等の可否を判断する。
	広域官民連携事業の継続的展開（含他団体との連携）⇔ 当協議会の存在理由・存在感の顕示		
	WEBサイト（含SNS）を最大限活用しての情報発信		
継続検討 重要案件	歴史街道計画推進活動運営組織形態の検討⇒「協議会」方式の継続もしくはその他方式への変更		



大阪・関西万博での情報発信

第10期中期計画の進捗状況①



事業項目		主要ターゲット	取組概要			先の取組の進捗状況（～2023年度）
			R3（2021）年度	R4（2022）年度	R5（2023）年度	
メインルート	地域連携事業		・地域連携事業の再構築、再稼働 ・メインルート6拠点参画 官民広域連携事業試行			2023年度から、地域連携事業のイベント活性化 メインルート6拠点については、伊勢～飛鳥（伊勢街道）、飛鳥～奈良～京都、京都～大阪～神戸（西国街道）、京都～大阪（京街道）などそれぞれのエリアにおいて連携事業を実施したが、コロナの影響もあり、6拠点全域での連携事業については着手できなかった。 メインルートを顕在化する事業としては、首都圏留学生を関西に招聘するプログラムにおいて、2021年度は京都～大阪～神戸、2022年度は奈良～京都～大阪、2023年度は伊勢～奈良～京都～大阪を訪問するコースを実施した。
	関西5私鉄連携事業推進	歴史ファンの 中高年男女	スタンブラリーのデジタル化導入（アナログ方式併存）			2021年度はアナログ併存（リアル22カ所、デジタル27カ所）、2022年度は全面デジタル化（61カ所）、2023年度ポイント拡大（75カ所）
	伊勢飛鳥間連携事業		伊勢街道MAP制作	試行ポイント拡大 連絡協議会・周辺自治体との連携事業推進		「伊勢街道」連絡協議会、沿線自治体との連携し、2021年度ウォークマップ作製、2022年度ウォーク実施、2023年度はウォークと講演会実施
	飛鳥奈良京都連携事業		クラブツーリズムとの連携企画推進・拡大			2021、2022年度はクラブツーリズム社との連携モデルツアー、2023年度はテーママップ作製
	京都大阪神戸連携事業		西国街道MAP改訂	西国街道セミナー・リレーウォーク再開		西国街道イベントとし、2021年度ウォークマップ、秋季連携施設イベント紹介チラシ作製、2022年度は秋季連携施設イベント紹介チラシ作成、2023年度はキックオフ講演会、リレーウォークイベント他を実施
	京街道淀川左岸連携事業		マイクロツーリズムの試行・推進			連携する大阪あそび等のウォーク実施、京街道マップ更新
	紀伊山地の霊場と参詣道	歴史ファンの中 高年男女	紀伊山地三霊場フォーラムの年次開催（紀伊山地三霊場会議共催）			2021年度「古来からの日本人の祈り」、2023年度「弘法大師」を実施
北近畿、琵琶湖	近隣関係団体等との連携事業の継続			・近江中山道連絡会議、輪の国びわ湖推進協議会等と連携し、ガイドブックの制作協力、サイクルツーリズムシンポジウムの開催（毎年）、中山道マップの改定、イベントでの展示PR、歴史街道倶楽部イベントを活用したウォークイベントの開催などの事業を継続実施。		
	WEBサイト・歴史街道倶楽部を中心とした情報発信			地域紹介動画、倶楽部会誌等で紹介		
ネットワーク	世界遺産連携会議との連携	欧米家 インバウンド	①熊野古道における外国語表示整備 ②紀伊山地の霊場と参詣道ガイドブック・パンフレットを古道多言語整備			協賛する世界文化遺産地域連携会議が、2021年度に①、②を実施

第10期中期計画の進捗状況②



共通	日本文化体感PRG	高校生	会員市町村内の高校と共同し、留学生との交流プログラム展開	子どもゆめ基金（2021.2022.2023）、中島記念国際交流財団（2023）の助成金を活用し、2021年度は大阪市、堺市、（明日香村はコロナ等を考慮し辞退）2022年度は大阪市、斑鳩町、岸和田市（高校からの依頼）、2023年度は岸和田市、斑鳩町、姫路市で実施。 2021年度子どもゆめ基金の助成により高校生向けのWEB版教材「タイムスリップ号」を作成。以降、高校への資料配布、広報媒体の作成と図書館への配架など普及活動を実施。
		大学生	講義内でのプログラム活用他大学のコースに応じたプログラム展開	2021年は大阪産業大学（日本人学生）と立命館大学（留学生）に講義を実施。2022年度は大阪産業大学（日本人学生）と神戸大学（日本人学生および留学生）に講義を実施。立命館大学の留学生に講義と現地を合わせたプログラムを提供した。2023年度は大阪産業大学（日本人学生）講義を実施、立命館大学の留学生に講義と現地を合わせたプログラムを提供した。
		企業	国内企業：新入社員研修、海外赴任前研修	年1回、新入社員研修を実施
			海外企業：日本での研修、インセンティブ旅行でのプログラム活用	日中経済貿易センターを介し、中国系企業への働きかけをおこなう予定であったが、感染拡大等諸般の事情により10期では見送った。2022年、関西観光本部等を通じて、インセンティブツアーへの組み込みをランドオペレーター等への情報提供をおこなった。
		訪日外国人研修生	日本国際協力機構（JICA）経由等を中心に継続展開	2021年度は海外からの研修員受け入れがなく、オンライン講義のみ4本実施。2022年度は訪日研修が再開され29本実施。2023年度は34本を実施した。
		日本で学ぶ留学生	日本での就職を希望者を対象に就職活動に資するプログラムを提供	太平洋人材交流センターと共催で助成金を申請したが、2021、2022年とも採択されず、実施できなかった。2021年は日本万国博覧会記念基金の助成金を活用し2本、2022年、2023年は採択されなかったため各1本、首都圏の大学で学ぶ留学生を対象に関西の歴史文化を体感するプログラムを提供。
		通訳案内士	最新地域状況の紹介セミナーをリアル、WEB双方にて開催	2021年は2回オンラインで、2022年はオンライン1回、東京1回セミナーを開催。2023年度は東京でリアルとオンラインを併用した形で開催した。

第10期中期計画の進捗状況③

共通	教育プログラム	小・中学生		奈良教育大学共催プログラム	文案・奈良教	2021年度はコロナ禍のため中止。2022年度は奈良教育大学と奈良市で、南海電気鉄道と堺市で親子向けプログラムを実施、2023年度は国立文楽劇場の協力で親子DE文案を実施、奈良教育大学とも継続実施予定。南海電気鉄道と岸和田市で親子向けプログラムを実施した。
	フォーラム、展示会等	歴史ファンの中高年男女	30周年記念フォーラム開催（大阪）		歴史講演会開催（大阪）	2021年度は、歴史街道推進協議会設立30周年を記念し、大阪にてフォーラムを開催。2023年度には、歴史街道の認知度向上と、歴史街道倶楽部会員増強を目指し、一般の方も対象とした歴史講演会を開催。
			歴史文化遺産フォーラム（関西広域連合・文化庁地域文化創生本部連携企画）			2021年度「アドベンチャーツーリズム」（和歌山市）、2022年度「ユニークバニユー」（京都市）、2023年度「民俗芸能」（徳島市）をテーマに開催
			大阪府立図書館での年次開催			2021年度「聖徳太子1400年御遠忌」、2022年度「大阪府内の街道」、2023年度「関西の日本遺産」をテーマにパネル展示と講演会を開催
	歴史街道倶楽部	歴史ファンの中高年男女	既存事業の充実（歴史の旅人発行、イベントの実施）		首都圏 阪急たびコト塾	首都圏での認知度向上を目指し、2023年度に歴史街道フォーラムを開催。また、阪急たびコト塾でのセミナーを再開した。歴史の旅人を年4回発行。イベントについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、募集人員縮小、少人数×複数班編成、ガイドイングリッシャー使用等の対策を講じた。イベント開催回数 2021年度 31回、2022年度 42回、2023年度 39回
			オンラインセミナー開催（リアル併用）			2021年度に試験的に実施。要員の確保及びオンライン環境整備状況が整わない会場もあり、今後も継続的課題とする。
			会報誌配架図書館拡大 → 大阪府立高校、名古屋市内公共図書館			2022年度より大阪府立高校、兵庫県立高校、名古屋市内公共図書館への配架開始。
			年間を通しての入会金無料キャンペーン（2021年度限）			2021年度下期 入会金無料キャンペーン実施、2022年度よりWEB入会者は入会金無料を実施、2023年度下期 入会金無料キャンペーン実施

第10期中期計画の進捗状況④

共通	SNS	Instagram投稿 キャンペーン	Instagram利用の 歴史ファン	周年キャンペーン展開	キャンペーン第2弾実施	キャンペーン第3弾実 施	30周年記念事業として2021年に第1弾を実施。応募数は 1,095件。 2022年の第2弾は2,171件の応募。2023年も継続実施。	
		facebook	facebook利用の 歴史ファン	フォロワーの拡大			歴史街道各地の情報、旬の情報を週1〜2回投稿。 フォロワー数は、現状維持で17千人強。	
		Instagram	Instagram利用の 歴史ファン	フォロワーの拡大			歴史街道各地の情報、旬の情報を週1回投稿。 フォロワー数は、2021年491人、2022年941人、2023年は 約1,400人。	
	広報	歴史街道ガイドブック (キャラクター絵本 版：紙&デジタル)	小学校高学年～ ファミリー層	制作・発刊	キャラクターのLINEスタンプ化やSNSで活用			「あおぞらわんこの歴史街道ぶらりふらり旅」を作成し、公共 図書館・学校図書館に配架、倶楽部ノベルティとして配布。
		マイクロツーリズム	歴史ファンの 青中年男女	拡大			大阪あそび、大阪奈良歴史街道リレーウォーク実行委員会等の ウォークに協賛を継続	
		なぞ解き		試行	試行先拡大	定例化	2021年度1件実施(6千部)、2022年度4件実施（4万部）、 2023年度5件実施（3万5千部）	
		フォトロゲーニング		協賛連携を基本とし、展開ポイントの順次拡大を図りリレー形式へ			日本ライフロンクススポーツ協会に協賛し2021年度1件、2022 年度3件の歴史ロゲーニングを実施したが、タイムレースとし ての本質と、協議会目的との親和性を再検討し、2022年度で 連携を終了	
	会員団体実施事業への後援		会 員 団 体	年間100件以上をkeep			2021年度78件、2022年度97件、2023年度101件	

実施項目

	2021 実績	2022 実績	2023 見込										
	計 169	計 258	計 230	実地箇所・場所・対象等									
スタンプラリー	2	1	1	歴史街道	西国街道								
ウォーク・ツアー	31	75	48	クラブ ツーリズム	伊勢飛鳥	西国街道	ピワイチ	大阪あそび ライフロング	倶楽部	朝日・五輪鉄 リレーウォーク	奈良大阪 リレーウォーク	南北ウォーク	
勉強会、説明会	5	5	1	ボランティア ガイド	ピワイチ	現地見学会							
日本文化体感PRG	13	39	40	企業	大学	JICA	こども	通訳案内士					
フォーラム、セミナー	24	27	43	歴史文化遺産 フォーラム	紀伊山地 三霊場	サイクル ツーリズム	西国街道 伊勢街道	世界遺産サ ミット	倶楽部 近鉄文化910	阪急たびコト 塾	大阪中央図書 館	奈良大阪リ レーウォーク	
展示会	1	2	1	大阪中央図書 館	中山道								
なぞ解き	1	4	5	京阪	阪急	阪神	南海	近鉄	京市交				
イベント 計	77	153	139										
紙媒体	36	45	39	ようこそ 歴史街道	3か国語 パンフ	30周年記念誌	月刊歴史街道 歴史の旅人	マップ 西国街道、中山 道、伊勢本街道	リレーウォーク リーフレット	TOKK KPRESS	JRふれあい ハイキング	朝日ファミ リー 経済人	
TV	24	24	24	CATV									
動画、web	8	12	4	パナソニック映像	企業イントラ	デジタル サイネージ							
メルマガ	24	24	24	Do楽	なう								
広報 計	92	105	91										

助成金・受託事業等

行政・各種団体等が公募する受託事業、助成事業等獲得に取り組み、下記事業を受託

	件数	助成団体	事業内容	助成金額（千円）
2021	5	・公益財団法人関西・大阪21世紀協会 日本万国博覧会記念基金 ・独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金（3件） ・一般社団法人 輪の国びわ湖	・日本文化体感プログラムを通じた首都圏の留学生との交流事業を企画。	5,232
2022	3	・独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金（2件） ・一般社団法人 輪の国びわ湖	・国際交流を体感しよう 「日本文化体感プログラム」大阪の高校生と関西の留学生と一緒に日本文化を体感し、お互いの思いを共有することで、国際感覚を養うことを目的に実施。	528
2023	4	・独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金（2件） ・中島記念交流財団 ・一般社団法人 輪の国びわ湖	・サイクルサポートステーション 講習会、サイクルガイド講習会等に関わる事業	1,120

地域別取上げ回数① (2021~2023年度)

(注！) 取上げ内容の濃淡・スペース・期間等に関係なく、取上げ回数のみをカウント。

行政区域	計	スタンプラリー	ウォーク・ツアー	勉強会説明会	日本文化体感PRG	フォーラム・セミナー	展示会	倶楽部	なぜ解き	広報
福井県	11	0	0	0	1	0	1	6	0	3
三重県	41	8	0	0	5	1	2	5	0	20
伊勢市	11	4	0	0	3	1	0	1	0	2
伊賀市	12	0	0	0	0	0	1	2	0	9
名張市	6	0	0	0	1	0	0	1	0	4
津市	6	2	0	0	0	0	0	1	0	3
その他	6	2	0	0	1	0	1	0	0	2
滋賀県	59	5	4	11	1	3	7	18	0	6
近江八幡市	12	3	0	1	0	0	2	3	0	3
その他	47	2	4	10	1	3	5	15	0	7
京都府	151	17	11	0	51	1	8	28	5	23
京都市	76	5	5	0	44	1	1	11	3	6
宇治市	19	3	0	0	6	0	1	6	1	2
城陽市	3	0	0	0	0	0	1	0	0	2
八幡市	10	4	1	0	0	0	2	0	1	2
木津川市	6	1	1	0	0	0	1	0	0	3
舞鶴市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大山崎町	14	3	2	0	1	0	1	3	0	4
その他	23	1	2	0	0	0	1	8	0	11

地域別取上げ回数② (2021~2023年度)

行政区域	計	スタンプラリー	ウォーク・ツアー	勉強会説明会	日本文化体感PRG	フォーラム・セミナー	展示会	倶楽部	なぜ解き	広報
大阪府	212	27	43	1	18	4	16	43	16	38
大阪市	62	4	13	0	8	0	3	22	5	7
堺市	26	3	6	1	3	2	2	6	2	1
岸和田市	19	2	2	0	4	0	0	3	1	7
泉佐野市	9	1	3	0	0	0	1	2	1	1
高槻市	18	2	1	0	0	0	1	6	0	8
茨木市	12	2	3	0	0	1	1	0	0	5
箕面市	12	3	2	0	0	0	2	0	0	5
羽曳野市	8	1	2	0	1	0	3	0	0	1
藤井寺市	8	3	2	0	2	0	0	0	0	1
その他	38	6	9	0	0	1	3	4	7	8
兵庫県	145	22	16	0	16	0	7	27	7	47
神戸市	31	4	3	0	8	0	2	6	2	6
姫路市	22	3	2	0	6	0	0	2	0	9
尼崎市	14	4	1	0	0	0	2	4	0	3
西宮市	25	4	1	0	1	0	2	6	3	8
宝塚市	14	4	1	0	1	0	0	3	1	4
猪名川町	8	1	3	0	0	0	0	1	0	3
その他	31	2	5	0	0	0	1	5	1	17

地域別取上げ回数③（2021～2023年度）

行政区域	計	スタンプラリー	ウォーク・ツアー	勉強会説明会	日本文化体感PRG	フォーラム・セミナー	展示会	倶楽部	なぞ解き	広報
奈良県	146	25	36	0	20	2	8	20	2	23
奈良市	31	4	6	0	7	1	0	6	1	6
天理市	17	5	4	0	1	0	1	4	0	2
橿原市	8	1	1	0	1	1	1	0	0	3
桜井市	20	4	6	0	1	0	2	4	0	3
宇陀市	6	1	3	0	0	0	0	0	0	2
葛城市	4	0	2	0	0	0	1	0	0	1
斑鳩町	19	3	3	0	4	0	1	6	0	2
大淀町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
明日香村	14	4	2	0	3	0	1	0	0	4
御杖村	4	0	1	0	1	0	0	0	0	2
曽爾村	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
その他	20	3	8	0	2	0	1	0	1	5
和歌山県	69	36	0	0	3	0	3	11	1	5
和歌山市	23	12	0	0	1	0	1	6	0	3
高野町	23	12	0	0	1	0	1	6	0	3
その他	23	12	0	0	1	0	1	6	0	3
徳島県	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
合 計	795	140	110	12	115	12	52	158	31	165

歴史街道推進協議会の会員数推移

（単位：団体）

年 度	2018	2019	2020	2021	2022	2023
省 庁	8	8	8	8	8	8
経済・各種団体	12	12	14	13	13	14
自治体 （市町村）	60	57	52	49	49	48
準 会 員	1	1	1	1	1	1
民間企業	109	101	97	92	92	93
計	190	179	172	163	163	164

・ 現会員数は10年前の約8割（2013年度：202団体）

歴史街道倶楽部の会員数推移

(単位：人、団体)

年 度		2018	2019	2020	2021	2022	2023
会員数合計		2,069	1,867	1,801	2,023	1,657	1,623
個人	会員数	1,716	1,570	1,510	1,637	1,401	1,406
	新規加入者数	298	308	282	448	172	302
	退会者数	444	454	342	321	408	297
家族	会員数	341	287	280	376	247	210
	新規加入者数	35	37	53	157	24	22
	退会者数	89	91	60	61	153	59
法人	会員数	12	10	11	10	9	7

コロナのため外出機運の消失により会員数が減少傾向にある。2021年度に大規模なご入れによるキャンペーンを実施したことにより2千人を超えたが、2022年度以降、大規模キャンペーン継続の金銭的な限界および担当者の人員減等によりキャンペーンの実施ができなかったため、会員が減少した。

事務局職員数

(単位：人)

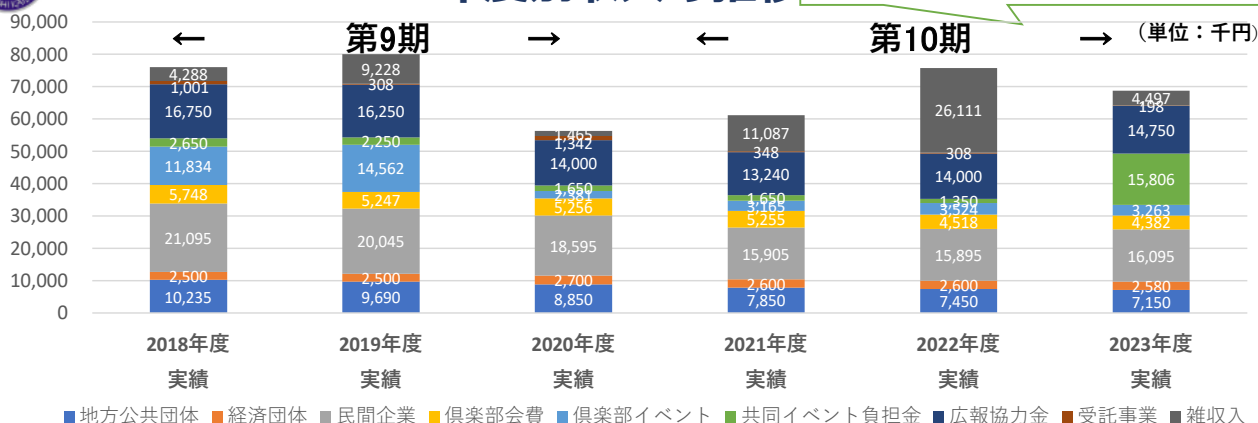
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	実績	実績	実績	実績	実績	実績
プロパー	3	1	0	0	0	0
出向者	10	11	10	8	10	9
契約社員	1	3	4	5	5	5
計	14	15	14	13	15	14
人件費（合計）	23,222	13,825	10,220	10,586	11,584	11,549

- ・ 出向者人件費はすべて出向元（6社）負担:協議会の負担なし
- ・ 契約社員5名中2名は元プロパー（定年後の再雇用）
- ・ 2020年度以降、プロパー不在



年度別収入の推移

なぞ解き収入
2021年度3百万円、2022年度23百万円、2023年度14百万円
※2023年度より、雑収入から共同イベント負担金に科目変更

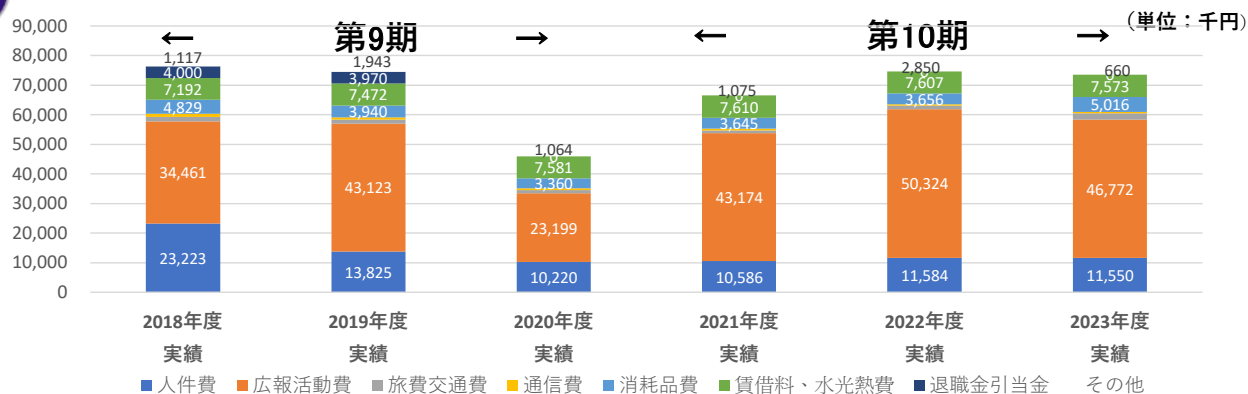


会費収入はこの期間中で25%減(34百万円→26百万円)

なぞ解きを除く収入：2021年度58百万円、2022年度53百万円、2023年度57百万円



年度別支出の推移



広報活動費 2020年度対前年比-20百万円：コロナ禍による活動縮小

なぞ解きを除く支出：2021年度64百万円、2022年度55百万円、2023年度60百万円

第10期の取組みに対する評価①

区分	No.	第11期中期計画策定にあたっての会員アンケートより抜粋
要 努 力 評 価	1	コロナの影響もあり、拠点全域での連携事業に着手できなかったことは残念ながら仕方ない。残りの期間をどう進めていくなどが重要。
	2	地域連携事業（メインルート6拠点）については、大阪・関西万博の開催を見据えた、インバウンドに対する誘致を考慮に入れた展開が出来ていなかった。
	3	メインルートの他、紀伊半島のネットワークとの連携についても強化いただきたい。
	4	Instagramは若者世代への訴求効果が高いので、更新頻度を現在の週1回から増やした方がいいと思いました。
	5	若年層へのアプローチを様々な形で行っていただきたい。
	6	会員数が減少傾向にあるため、Instagramの活用や高校生や大学生などをターゲットとしたプログラムを展開したのは評価できるが、さらに若年層の獲得に向けた施策を中心的に据えることが必要だと思われる。
	7	参加させていただいている飛鳥・奈良・京都事業では、距離の問題からツアーでの連携には課題を感じますが、今回テーママップの作成やマップを活用したスタンプラリー等を予定されており、京都と奈良方面をつなぐ事業として、集客も意識した連携ができる機会になればと思います。

第10期の取組みに対する評価②

区分	No.	第11期中期計画策定にあたっての会員アンケートより抜粋
肯 定 的 評 価	1	第10期の計画については、新型コロナウイルス感染症の中、新たな手法も導入し概ね計画通りに事業を進められていた。
	2	各交通機関との連携による謎解きゲームは、鉄道の楽しさやその地域の歴史を知ることができる面白いツールであると感じた。
	3	関西5私鉄連携事業推進について、21年度～23年度でスタンプラリールートの拡充を実施したことで、日ごろ鉄道を利用しない層へのPRと乗車促進がキーポイントだったと考えております。
	4	数多くの事業に取り組んでいただいていると思う。
	5	2024年度以降も、伊勢街道をはじめとして、本県内でのイベント開催を積極的をお願いしたい。
	6	本県でのウォークイベントの開催や「歴史の旅人」での当県の情報掲載、「紀伊山地の霊場と参詣道」をテーマとしたフォーラムの開催等、定期的なプロモーションが当県の歴史・文化振興等の一助になっていると認識しております。
	7	今年度は、「時空の旅 タイムスリップ号」の撮影を伊勢でしていただいた。歴史街道の情報発信の一助になるよう期待している。
	8	日本文化体感プログラムや教育プログラムを本市で開催していただきまして、ありがとうございます。本市で策定しております、第2次観光振興計画において、体験交流型観光の推進を基本方針の一つとしており、観光資源を活かした体験プログラムの充実となっておりますので、第11期も引き続き開催をお願いしたいと思います。